

1. 米倉義晴: 脳医学 20 年の歩みー定量診断をめざしてー. 映像情報 Medical. 37(2), 184-187, 2005,2.
2. 米倉義晴: 分子イメージング. 臨床放射線. 50(3), 355-361, 2005,3.
3. 杉本勝也, 藤渕洋士, 石田智一, 東村享治, 小林正和, 土田龍郎, 岡沢秀彦, 藤林靖久, 米倉義晴: PET 従事者の被曝線量管理について. 福井県核医学研究会記録集. (12), 11-12, 2005,4.
4. 藤林靖久: 画像診断の新たな可能性 分子イメージング(Molecular Imaging). 日獨医報. 50(1), 256-262, 2005,4.
5. 古川高子, 藤林靖久: 分子イメージングの現状とこれからの展望. 最新医学. 60(5), 54-59, 2005,5.
6. 米倉義晴: 分子イメージング研究で何を指すのか. 新医療. 365, 104-106, 2005,5.
7. 森 哲也: Clinical Engineering 用語解説. Clinical Engineering. 16(8), 817, 2005,8.
8. 藤林靖久: 新しいがんの画像診断と治療. CAMPUS EXPRESS. 8, 11-12, 2005,9.
9. 藤林靖久: 分子イメージング研究. Radioisotopes. 54(10), 449-454, 2005,10.
10. 岡沢秀彦: 機器の進歩とその利用(7). 医薬ジャーナル. 41(11), 5-10, 2005,11.
11. 米倉義晴: 21 世紀 COE プログラムの中間評価. CAMPUS EXPRESS. 9, 1-2, 2005,12.
12. 米倉義晴: 脳虚血と分子イメージング. 神経進歩. 49(6), 2005,12.
13. 岡沢秀彦: PET の可能性と限界ー脳血管障害に対する血管拡張負荷試験の意義と新しい指標による脳循環評価の試みー. 脳卒中. 27(4), 2005,12.